

〔科目名〕 教 養 演 習	〔単位数〕 4単位	〔科目区分〕 演習科目				
〔担当者〕 横 手 一 彦		〔授業の方法〕 演習				
〔演習テーマ〕 北東北の地域性と文字表現——例.太宰治『津軽』を読み解く						
〔演習内容〕 <p>太宰治『津軽』は文学的評価が高く、現在も多くの読者に親しまれている。作品『津軽』を、研究という側面から読み進める。その考察軸の一つは、津軽地域の、歴史性と社会性と人的な関係性である。それらの読み解きを通じて、各自の考察を深める。</p> <p>比較する思考、対比する思考、分析する思考。私(私たち)は、それらの思考を通じて、独自の理解に至り、新たな意味を発見する。新しい見方や考え方を獲得する。</p> <p>分析的な考察は、作品を読み込むという行為に限定されない。ものごとに対して、私(私たち)が問い掛ける形であり、〈学ぶ〉ことを通じて独自の方途が得られる。自分の足元に立ち返り、先人に学び、次段階へと進む。また今年度に引き続き、旧金木町周辺の踏査を継続する。</p> <p>※少人数で構成する演習科目である。作品『津軽』に限らず、それ以外の文学作品などを取り上げることもある。その場合、受講生の関心に沿う方向で立案し、展開する。</p>						
〔科目の到達目標〕 <p>北東北の歴史性や文化性を踏まえ、記録された形式と内容に関心を持ち、受講生の視点から関連する資料などを収集し、分析し、記述する。</p> <p>〈調査すること〉、〈分析すること〉、〈文字表現すること〉を通じて、科学的思考方法(人文科学)を学び、実践する。</p>						
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕						
学部				学科		
DP1	DP2 ○	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3
〔前提条件〕 特になし						
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 春学期末と秋学期末に課題レポート提出						
〔教科書等〕 教場で適宜、プリントなどを配布						
〔実務経歴〕 特になし						

授業スケジュール	
時期	テーマと内容
第一回	春学期始め ・受講にあたって ・年間を通じて ・研究すること
第二回	・テキスト配布 ・調査すること 分析すること 文字表現すること ・研究すること(課題に対する人文科学の接近方法)
第三回	・太宰治 ・作品『津軽』 ・津軽半島 津軽地域 近世 近代 津島家
第四回 ～ 第一四回	・各自が担当する範囲 作品『津軽』を読む 調べる 分析する 口頭報告 意見交換 ・農業. 林業. 水産業.
第一五回	春学期のまとめ 課題レポート提出について
第一六回	秋学期始め ・課題の提出と意見交換
第一七回	・提出課題の相互検討
第一八回 ～ 第二九回	・各自が担当する範囲 『遠野物語』を読む 調べる 分析する 口頭報告 意見交換
第三〇回	秋学期のまとめ 課題レポート提出について